

コース番号	224
コース名	生産現場の問題解決
コースのねらい	生産管理を理解し、生産現場の問題を発見、解決できる知識、技能を習得する。

講義内容	「基本項目」	「主な内容」	訓練時間 (H)
	1 生産活動の基本	(1) 生産活動の基本(モノづくりの環境の変化) 製造業の現場を取り巻く経営環境の変化 ①顧客ニーズの多様化 ②多品種少量短納期 ③QDCと整理整頓の5S	1.0
	2 現状分析とムダの発見	(1) 生産現場の問題とは 問題と課題を明確に区別する ①3現主義(現場・現物・現実) ②【事前宿題1枚の写真】現場の問題を1枚の写真で表現する ③問題と課題の違いを明確にする (2) ムダの問題を的確に表現するスキル 問題は箇条書きで3行以内で表現する ①事実を的確に表現する ②数値化できるものは数字で表現する ③カタカナや4文字熟語で問題を抽象化しない (3) ムダの発見(問題を△図で図解化する) 【演習】問題は図解化して伝える ①△図3C図解で現場の問題を表現する ②問題の視点が変わる(顧客の視点、競合との視点) ③ムラ(ムダとムリ)に経営視点で気が付く	1.0 0.5 0.5
	3 生産現場の改善	(1) 4Mで問題を構造化して分析する 4Mと特性要因図で問題の構造化 ①【グループ討議】メンバーの取り上げた問題を構造化する ②4M視点でなぜなぜ分析 (2) 改善の手順 改善ストーリーの流れを理解する ①図解で理解する改善ストーリー ②創造的な思考技術で改善を考える ③VEの法則で機能を考える (3) 全体発表(事例演習の成果発表) 問題解決(改善)の発表で受講者で共有する ①PREP法で的確に伝える ②質疑応答の議論でケンカしないポイント ③発表者に対するコメントのしかた	1.5 1.0 0.5
		合計時間	6.0

コース基本情報	
会場	ポリテクセンター福岡(北九州市八幡西区穴生3-5-1)
実施機関	株式会社 創研
申込締切	2022年11月11日
訓練日程	2022年11月25日
訓練時間	9:30~16:30
定員(名)	20
受講料(円)	3,300

※訓練時間には昼休憩の60分を含みます。

コース番号	225
コース名	事故をなくす安全衛生活動
コースのねらい	職場の安全衛生の改善をめざして、安全衛生の要点や企業における安全衛生活動、リスクを低減するための点検手法についての知識を習得する。

講義内容	「基本項目」	「主な内容」	訓練時間 (H)
	1 安全衛生概論	1-1 企業における安全衛生の意義 <ul style="list-style-type: none"> ・国内労働災害の実態 ・安全第一の歴史 ・安全の定義 1-2 労働安全衛生関連法令 <ul style="list-style-type: none"> ・安全の必要性 ・労働安全衛生関連法令 ・安全措置義務と安全配慮義務 ・労災保険と損害賠償 1-3 労働災害発生メカニズム <ul style="list-style-type: none"> ・3つの災害要因 ・災害発生メカニズム ・安全マネジメント力 ・不安全行動 ・不安全状態 	2.0
	2 企業における安全衛生活動	2-1 労働災害3要因のマネジメント <ul style="list-style-type: none"> ・安全マネジメント力の強化 ・不安全行動の改善 ・不安全状態の改善 2-2 危険予知活動とヒヤリ・ハットの概要 <ul style="list-style-type: none"> ・危険予知の考え方 ・ヒヤリ・ハット ・危険予知の演習 ・危険予知の演習(発表) 2-3 安全衛生パトロールの概要 <ul style="list-style-type: none"> ・パトロールの目的 ・パトロールの形態 ・効果的パトロールの考え方 	1.0
	3 点検による管理	3-1 リスクレベルに応じた点検 <ul style="list-style-type: none"> ・リスクアセスメントの考え方 ・リスクアセスメント演習 3-2 安全点検の概要 3-3 労働災害発生時の手順 3-4 労働災害の要因分析と改善 <ul style="list-style-type: none"> ・要因分析の考え方 ・要因分析の事例 ・要因分析の演習 	3.0
		合計時間	6.0

コース基本情報	
会場	ポリテクセンター福岡(北九州市八幡西区穴生3-5-1)
実施機関	パナソニックエレクトリックワークス創研株式会社
申込締切	2022年11月10日
訓練日程	2022年11月24日
訓練時間	9:30～16:30
定員(名)	20
受講料(円)	3,300

※訓練時間には昼休憩の60分を含みます。

コース番号	226
コース名	提案型営業手法
コースのねらい	新規顧客、新商品・サービスの開拓ができる提案営業の手法を学び、実際の顧客を想定し営業側から能動的(自発型)な提案ができる営業手法を習得する。

講義内容	「基本項目」	「主な内容」	訓練時間(H)
	1	提案型営業とは	<p>(1)提案型営業の原理原則 ～ソリューション提案とは ソリューション提案とは ～顧客の課題への最適な解決策を導く 【ワーク】営業として今の自分に足りないものを考える</p> <p>(2)ソリューション提案力強化のためのステップ ①顧客理解を深める事前準備 ②自社が提供できることを認識する ③顧客のニーズを探る ④ソリューションとしての提案内容を導き出す</p> <p>(3)お客さまの真のニーズに応えるために ～顧客のビジネスを理解する ①顧客のビジネスへの貢献をゴールに置く ②顧客の置かれた立場を理解する 【ワーク】顧客から信頼を得るために意識・工夫していることを共有</p> <p>(4)お客さまの真のニーズに応えるために ～顧客の業界を理解する ①業界や顧客企業に固有の情報を知る ②情報収集の前提は信頼関係 【ワーク】「聴く」スキルの実践</p>
2	顧客ニーズと自社商品・サービスの強み分析	<p>(1)お客様との関係を構築する ～自社が提供できることを認識する ①自社の強みの本質を見極める ②まずは自社の「売り物」を知ること ③組み合わせることでの生む価値 【ワーク】2人1組で「相手が今携わっている仕事」を聞き出す</p> <p>(2)ニーズを掘り下げる ～顧客ニーズの深掘り ①仮説を立て、顧客のニーズを探る ②仮説思考力を磨くための方法 ～視点を変える ③仮説思考力を磨くための方法 ～過去から未来を予測する ④仮説を構築するうえでの質問力 【ワーク】1名高めた視点で顧客の抱える問題を考えよう</p> <p>(3)提案する ～ソリューションとしての提案内容を導き出す ①問題解決の思考手順が基本 ②原因追究のためのツール ③マトリックスを使った解決策の選定 【ワーク】製品を顧客に提案するセールストークを顧客のタイプ毎に分けて考える</p>	1.0 2.0 1.0
合計時間			6.0

コース基本情報	
会場	ポリテクセンター福岡(北九州市八幡西区穴生3-5-1)
実施機関	株式会社インソース 九州支社
申込締切	2022年11月22日
訓練日程	2022年12月7日
訓練時間	9:30～16:30
定員(名)	20
受講料(円)	3,300

※訓練時間には昼休憩の60分を含みます。

コース番号	227
コース名	DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進
コースのねらい	DX(デジタルトランスフォーメーション)による企業変革の有効性を理解し、自社のDX推進に向けたポイントを習得する。

講義内容	「基本項目」	「主な内容」	訓練時間(H)	
	1	DX概論	(1)DXとは 昨今、経営者の間でも話題となっているDX(デジタルトランスフォーメーション)。多くの場面で「企業でのIT活用」という文脈で語られています。しかし、本質的なDXとはIT活用の先にある新たな価値創造を意味します。ここでは、DXとは何か、IT活用と何が違うのかについて分かりやすく解説します。	0.5
			(2)企業に求められる変革 業務改善や業務改革は特別な業務ではなく、企業の本来業務です。変革なくして企業の成長・存続はありません。ここでは、業務改善マインドの必要性について解説します。	0.5
	2	DX導入事例	(1)DXに成功した事例紹介 IT活用とDXの成功事例について、大企業のみならず、中小企業や個人事業での事例を動画やサイトも含めてご紹介します。	1.0
(2)成功事例で利用されているITツールの紹介 DXの成功事例の中で実際に活用されている様々なITツールを紹介します。クラウドサービス全般、IoT、CRM、会計ツール、HR領域のツール、RPAやAIなどの各種ツールについてデモンストレーションを交えて解説します。			1.0	
3	DX戦略の導入	(1)業務改善の基礎 DXとは業務改善や改革の結果、実現されるものです。ここでは業務改善・業務改革の基本的な考え方、改善策検討のためのECRSの法則について解説します。	1.0	
		(2)DXビジョンの創造【演習あり】 DXを推進するためには目指す方向性、将来の望ましい状態(ビジョン)が必要です。ここではビジョンマップ(ワークシート)を用いて、自社が目指すべきビジョンを創造します。	1.0	
		(3)DXの具体的な取組領域の決定【演習あり】 ビジョンマップを利用して、ビジョンを達成するために必要な戦略(取り組み領域)を検討します。どのような方法でビジョンを達成するか等、DXを行う上でのポイントについて講師から個々にフィードバックします。	0.5	
		(4)業務プロセスの設計手法 誰でもすぐに取り入れられる業務プロセスを構築するための手法について、「業務記述書」と「業務フロー」を取り上げて解説します。業務プロセス設計で気をつけるポイント(トランザクションを少なくする、誰が何に責任を持つか明確にする、等)についても解説します。	0.5	
合計時間			6.0	

コース基本情報	
会場	ポリテクセンター福岡(北九州市八幡西区穴生3-5-1)
実施機関	株式会社パワートレイン
申込締切	2022年11月24日
訓練日程	2022年12月8日
訓練時間	9:30~16:30
定員(名)	20
受講料(円)	3,300

※訓練時間には昼休憩の60分を含みます。

コース番号	228
コース名	ビジネスとSDGs(持続可能な開発目標)の融合
コースのねらい	世界中の企業がSDGsを経営の中に取り込もうと力を注いでおり、SDGsを経営に組み込むべく様々な取組が進められている中でSDGsの必要性を理解し、自社のビジネスの成長につなげる知識を習得する。

講義内容	「基本項目」	「主な内容」	訓練時間(H)	
	1	SDGsの概要	(1)SDGsとは ・国連が定めたSDGsの意義、狙い、達成目標の概要を理解する ・SDGs登場までの歴史的背景を知り、国内外が抱える社会的課題とその解決に向けたあるべき姿を理解する (2)SDGs導入の目的 ・SDGsの概要を理解した上で、企業として取組むための目的およびメリットを明確にし、リスクをビジネスチャンスに変換する道筋を学ぶ	1.5
	2	SDGsの取組	(1)SDGsの取組事例 ・日本(国)としての取組み状況、表彰制度、政策および個別企業の取組み状況、成功事例などを参考にし、自社のSDGs取組み活動に活かす (2)新分野へのチャレンジ ・新しい社会構造を創造する「Society5.0」、「DX」などの活用により、更に進化したSDGsへの取組み戦略を構築する ・課題解決のための新たなビジネスモデルを検討する	2.0
	3	開発目標の戦略	(1)・SDGコンパスなどを活用した企業取組み ・課題設定、目標設定、経営への統合、報告など、SDGコンパスの指針に準拠する経営計画を策定する ・取組評価指標を策定する (2)・今後の課題 ・国や企業において、国際的評価が劣る分野を理解し、自社に照らし合わせてそれらを克服するための取組みを実践する	1.5
	4	演習	・自社の経営課題の抽出 ・自社の経営理念・ビジョン・経営計画に準拠したSDGsの課題設定	1.0
		合計時間	6.0	

コース基本情報	
会場	ポリテクセンター福岡(北九州市八幡西区穴生3-5-1)
実施機関	パナソニックエレクトリックワークス創研株式会社
申込締切	2023年1月13日
訓練日程	2023年1月27日
訓練時間	9:30~16:30
定員(名)	20
受講料(円)	3,300

※訓練時間には昼休憩の60分を含みます。

コース番号	413
コース名	表計算ソフトを活用した業務改善
コースのねらい	表計算ソフトについて、業務で必要となる各種用途に応じた実習を通して、業務改善につながる活用方法を学習する。

「基本項目」		「主な内容」	訓練時間 (H)	
講義内容	1	表計算ソフト概要と基本操作	1.5	
	2	文書作成ソフトと表計算ソフトの用途の違い	1.0	
	3	ワークシートの活用	3.5	
			合計時間	6.0

コース基本情報	
会場	株式会社アットワーク 黒崎駅前教室（北九州市八幡西区黒崎3-9-22RISOビル7F）
実施機関	株式会社アットワーク
申込締切	2023年1月13日
訓練日程	2023年1月28日
訓練時間	9:30～16:30
定員（名）	15
受講料（円）	2,200

※訓練時間には昼休憩の60分を含みます。

コース番号	414
コース名	業務に役立つ表計算ソフトの関数活用
コースのねらい	業務の効率化を目指して、事務処理に必要なデータ処理における計算ソフトの関数の効果的な活用方法を習得する。

講義内容	「基本項目」		「主な内容」	訓練時間 (H)
	1	データの処理	(1) 様々な関数 ・日々の作業の中の「データ処理」において、関数を使用することによる効率化について解説する。 (2) 関数の活用法【演習あり】 ・関数の入力、修正を効率よく行う方法について説明し、演習を行う。 ・関数(数式)のコピーとセルの参照(\$)についての解説と演習。 (3) 関数のネスト【演習あり】 ・複数の関数を組み合わせて使用する方法についての解説と演習。	2.0
2	関数の実務活用	(1) 場合に応じた処理【演習あり】 ・論理関数を使って、複雑な条件を指定する方法についての解説と演習。 (IF関数 AND関数 OR関数 ほか) ・統計関数を使って、条件を指定して計算する方法についての解説と演習。 (COUNTIF関数、SUMIF関数 ほか) (2) 他のデータを検索・参照する処理【演習あり】 ・検索関数を使ったデータの参照方法についての解説と演習。 (VLOOKUP関数、INDEX関数 ほか) (3) 日付、時刻を扱う処理【演習あり】 ・表計算ソフトにおける日付、時刻の取り扱う方法についての解説と演習。 (DATE関数、YEAR関数、MONTH関数、DAY関数 ほか) (4) その他の関数【演習あり】 ・様々な関数についての使用方法についての解説と演習。	4.0	
			合計時間	6.0

コース基本情報	
会場	株式会社アットワーク 黒崎駅前教室（北九州市八幡西区黒崎3-9-22RISOビル7F）
実施機関	株式会社アットワーク
申込締切	2023年2月10日
訓練日程	2023年2月25日
訓練時間	9:30～16:30
定員（名）	15
受講料（円）	2,200

※訓練時間には昼休憩の60分を含みます。

コース番号	604
コース名	チーム力の強化と中堅・ベテラン従業員の役割
コースのねらい	中堅・ベテラン従業員が求められる今後の役割や能力を確認し、職場の課題に対してこれまでの経験に基づき後輩従業員と共同で解決策を得るための知識と技能を習得する。

講義内容	「基本項目」	「主な内容」	訓練時間(H)	
	1	職場の課題	(1)職場の課題と解決のプロセス ・現在の職場の課題、これから起こりうる職場の課題を洗い出し ・どのように解決すればいいのか、そのプロセスを確認する。	0.5
	2	求められる役割と能力	(1)職場の課題と継続雇用者に求められる役割と能力 ・解決のプロセスに関して、あなたにはどのような役割が求められるのだろうか。 ・経験してきた職務に共通したもの、一貫して力をいれてきたことなどをベースに職務経験の再確認を行い ・あなたの積み上げてきた結晶性知能と求められる役割に必要なものから、キャリアの方向性を確認する。	1.5
	3	アサーティブの基本	(1)アサーティブとは ・アサーティブにいきましょう、とはどういうことなのか。 ・アサーティブは日本語で言う「主張する」ということなのか。 ・あなたのアサーティブ度をチェックしながら解説する。 (2)アサーティブの重要性 ・生産性を向上するために、なぜアサーティブなコミュニケーションが重要なのか。 ・しかし、なぜ日本では「事実をもとに伝える」アサーティブなコミュニケーションが広がらないのか。 ・アサーティブにできない原因を洗い出しながら、受講者全体で共有する。	1.0
	4	アサーティブな関係構築	(1)アサーティブな伝え方 ・共有した原因を使用し、または原因に関連した事例を使用し ・「頼む、断る」「反対する」「批判を受け止める」「怒りを伝える」「ほめる、ほめられる」について実践的に、アサーティブな伝え方を練習する。 (2)アサーティブな聴き方 ・事実をもとに伝えるのだから、相手の話も事実として聴く姿勢が大切。 ・それを忘れて、勝手に解釈してしまうから「相談相手にならない」となってしまふ。 ・思い込み支配されないように、小さな違いを発見して、それを肯定的にとらえて、アサーティブな関係を構築する聴き方を練習する。	3.0
合計時間			6.0	

コース基本情報	
会場	ポリテクセンター福岡(北九州市八幡西区穴生3-5-1)
実施機関	パナソニックエレクトリックワークス創研株式会社
申込締切	2023年1月25日
訓練日程	2023年2月8日
訓練時間	9:30~16:30
定員(名)	20
受講料(円)	3,300

※訓練時間には昼休憩の60分を含みます。